



# 朝かけ通信

知多市立東部中学校  
第6-13号通算505号  
令和7年3月7日  
Tel: 0562(34)3770  
E-mail: tobu-j@chita-c.ed.jp

## 卒業式 校長式辞より

春の風が心地よく、心華やぐ季節を迎えました。本日は、知多市教育委員会教育長 永井清司様をはじめ御来賓の皆様、多くの保護者の皆様の御臨席を賜り、第四十二回卒業式を挙行できますことを心より感謝申し上げます。御来賓の皆様には、卒業生に対するこれまでの御厚情に重ねてお礼申し上げます。

保護者の皆様、お子様の御卒業 誠におめでとうございます。深い愛情をもって成長を見守ってこられた我が子の立派な姿に、喜びもひとしおのことと御拝察いたします。入学以来、本校の教育活動に温かい御支援、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

卒業生の皆さん御卒業おめでとうございます。中学校の課程を修了し、卒業証書を手にした表情には、確かな自信と誇りが感じられます。この三年間の道のりは、楽しいこと、うれしいことばかりではなく、苦しいこと、つらいことも少なくなかったことでしょう。それでも、自分自身と真剣に向き合い、仲間を大切にしてお互いに前向きに努力を積み重ね、心身共に大きく成長されました。皆さんと過ごした二年間を振り返ると、たくさんのことが思い出されます。

野外教育活動は、キャンプファイヤーや学年レクで、実行委員と参加者が一体となり、熱気あふれる盛り上がりを見せてくれました。修学旅行では、自律と連帯の精神の下、大いに楽しみ、最高の思い出を創り上げました。部活動では真剣勝負で大会に挑みました。相手の力量が勝っていても、最後まであきらめずに勝利を目指す姿は、見る者の心を熱くしてくれました。秋華祭では多くのことに挑戦しました。合唱コンクールの響き渡る歌声、体育祭での躍動感あふれる応援演舞など、多くの人に感動を与え、東部中学校の歴史に新たな一ページを刻んでくれたことを本当にうれしく思います。中学校での、これらの経験を糧にして、新たなステージでも大きく羽ばたいてください。

皆さんはこれから、それぞれの進路を歩んでいかれます。新たな一歩を踏み出す皆さんに二つのことをお話しします。

一つは、新たな出会いを大切にすることです。「一期一会」という言葉があります。「人と出会うこの時間は、一生に一度しかないと考え、誠意を尽くして相手と接しなさい」という意味があります。また、何度も会う人に対しても、常に今回が最後かもしれないと考え、その時を大切にしなさい、という教えでもあります。新たな出会いを大切に、思いやりと感謝の気持ちをもって接してください。そして、人との関わりを通して、人を見た目や甘い言葉など飾られた部分のみにとらわれることなく、真に人を見る目も養っていきましょう。

もう一つは、利他共生の精神の発揮です。皆さんがこれから進む時代は、将来の予測が難しく、絶え間のない技術革新や価値観の多様化、少子高齢化、利己主義など様々な課題に直面しています。そんな時代だからこそ、互いを理解し、自らの持ち味を發揮しながら、周りの人々と協力して、よりよい社会を創っていきましょうとする心構えが大切です。友だちを大切に、よりよい学校づくりに努めてきた皆さんだからこそ、仲間と力を合わせて新しい時代を切り拓いていってくれることを期待しています。

今日から新たなステージへ一歩踏み出す皆さんの前には無限の可能性が広がっています。巣立ちゆく百六名の皆さんのこれからの人生に幸多かれと心からお祈りし、式辞といたします。

## 答辞 卒業生代表の言葉を紹介します。

暖かな陽の光が降り注ぎ、桜のつぼみも膨らみ始め、春の訪れを感じる季節となりました。本日は、私たち卒業生のためにこのような素晴らしい式を執り行っただき、ありがとうございます。また、ご多用の中ご出席くださいましたご来賓の皆様、先生方、保護者の皆様、在校生の皆さんに、卒業生一同、心よりお礼申し上げます。

三年前、少し大きく感じる制服に身を包み、中学校生活への期待と不安が入り混じる中、私たちは東部中学校の門をくぐりました。そして今日、私たち卒業生 106 名は、東部中学校の門をくぐる最後の日を迎えました。最後の登校だと思えば、歩き慣れた通路も、着慣れた制服も、どこか寂しく感じます。三年間を振り返ると、つらかったことや楽しかったこと、九年間を共に過ごしてきた仲間たちとの日々が鮮明に思い出されます。

一年生の頃、中学校生活のすべてが新しく、初めてのことばかりでした。あたりまえのことをあたりまえにできるようにすることに必死だった私たち。秋華祭では、下級生を一つにまとめ、盛り上げていた先輩方

の背中がとても大きく見え、強い憧れを抱いたことを今でも覚えています。

二年生の林間学校。私たちは、新型コロナウイルス感染症の影響で小学校の林間学校に行くことができなかったため、初めての飯ごう炊さんやキャンプファイヤーを経験しました。三日間のスケジュールを自分たちで立て、しおりを作り、より良い林間学校にしようとして一人一人が努めました。「自律」という言葉を目標にしてきた私たちにとって、自分や仲間の成長を確かに感じられる貴重な時間となりました。

三年生になると、「受験」や「卒業」という中学校生活でのゴールが近づいてきたことで期待や楽しみ、不安などの様々な気持ちが交錯してきました。秋華祭・体育の部では、応援合戦を行いました。団長や副団長などを中心に、振り付けや構成を考えるところから始め、学活や総合的な学習の時間だけではなく、夏休み中や放課後にクラスで話し合い、どのクラスもより良い演舞を目指し、互いに協力して全力で取り組みました。この経験を通じて、「頑張ったからこそ得られる感動がある」ことを学び、クラスや学年の仲間とのかけがえのない一生の思い出ができました。登下校、ST、授業、給食、掃除、部活動、委員会、休み時間など、何気ないあたりまえの日常の学校生活を笑顔で過ごせたことが何よりも幸せで、もう明日からはこの日常がなくなるのかと思うと寂しい気持ちになります。

ここまで、こうして私たちが中学校生活を通じて成長できたのは、多くの方々の支えがあったからです。お世話になった先生方。進路や人間関係などで悩んでいた私たちと真剣に向き合い、温かい言葉をたくさんかけてくださいました。私たちはその言葉にたくさん救われました。先生方のおかげで私たちは、より強い心を持ち、成長することができたと思います。次に会う時には、自分の夢に向かって強く歩みを進める私たちの姿を見せられるよう、これからも頑張ります。三年間、本当にありがとうございました。

在校生の皆さん。秋華祭などの行事では、頼りない部分もあったかもしれませんが、信じてついてきてくれて本当にありがとうございました。明日からは、皆さんが東部中学校を引っ張っていく番です。東部中の伝統や他にはないすばらしさを受け継ぎ、今いる仲間と素敵な思い出をたくさん作ってください。


一番近くでいつも支えてくれた家族へ。どんな時でも私たちのことを第一に考えて、寄り添ってくれて本当にありがとうございます。これからもたくさん迷惑をかけてしまうかもしれませんが、私たちが大人になっていく姿を、これからも一番近くで見守っててください。

三年生のみんな。九年間を共に過ごしてきたみんなと、もう一緒に学校生活を送ることができないと思うと、言葉では表せないほどの寂しい気持ちがこみ上げてきます。くだらないことで笑い合ったり、嬉しいことを分かちあったり、時にはけんかをしたり。みんなと過ごした日々は、私にとってかけがえのない大切な思い出とともに、これからもずっと忘れることのない財産です。九年間、本当にありがとう。

私たちは今日、たくさんの思い出を胸に、この東部中学校を卒業し、新たな道へ進みます。これから先、大きな壁が待ち受けているかもしれませんが、中学校での思い出や経験を糧に、私たちは成長し続けます。

最後になりますが、ご臨席の皆様方のご健勝と東部中学校のさらなる発展を心よりお祈りし、答辞といたします。

## 4月の予定

8 (火)	新任式 入学・始業式準備	
9 (水)	入学・始業式	
10 (木)	風水害避難訓練	
11 (金)	給食開始	
14 (月)	⑥委員会	
15 (火)	通常授業開始 3年全国学力・学習状況調査(理)	
17 (木)	3年全国学力・学習状況調査(国・数) ⑥離任式	
21 (月)	④全校集会、新入生歓迎会 午前授業	
22 (火)	部活動見学	
23 (水)	45分授業 ④学校公開(3年修学旅行説明会) PTA総会 学年懇談会	
24 (木)	45分授業(～4/28) 5時間授業(～4/28) 地域巡回(～4/28)	
29 (火)	祝昭和の日	
30 (水)	45分授業 時間割変更: ①火1 ②火2 ③火3 ④火4 ⑤火5 ⑥火6	